



# 北陸の園芸特産物をめぐる事情

令和6年12月

農林水産省

北陸農政局園芸特産課



# 目 次

1. 野菜の状況	1
(参考)	
① 指定野菜と指定産地	3
② 北陸の主な野菜産地	4
③ 野菜の流通動向	5
2. 花きの状況	6
3. 果樹の状況	9
4. 特産作物の状況	15

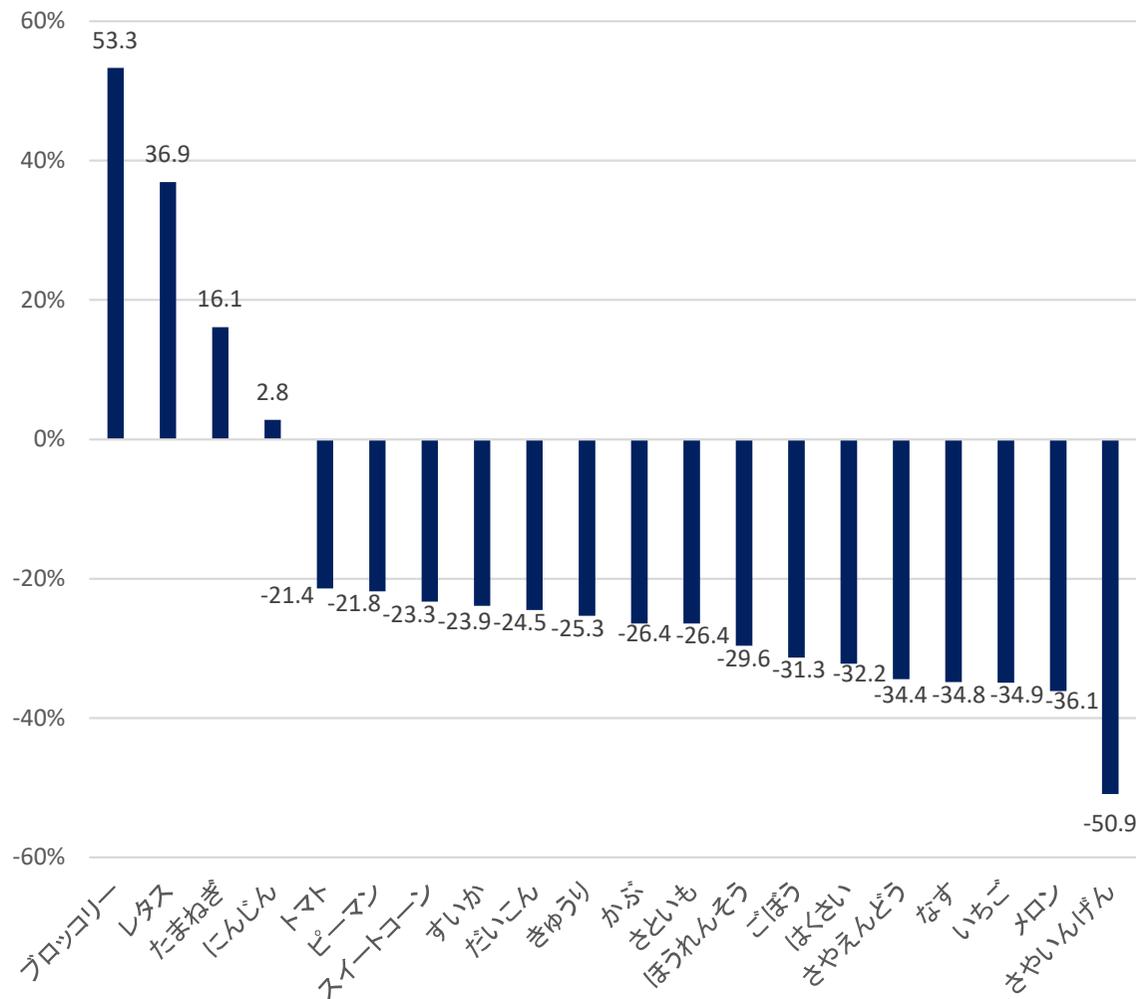
# 1 野菜の作付面積

- 北陸における令和4年産の野菜(主要24品目)作付面積は、13,300 haで平成22年の81.6%と年々減少している。
- 品目別に見ると、平成22年に比べ、はくさい、ほうれんそうのほか果菜類でも減少がみられる一方、石川県のブロッコリー、新潟県を除く3県のレタス、産地化が図られている富山県のたまねぎ、にんじん、枝豆、福井県のキャベツが増加している。

○野菜(主要24品目)作付面積の推移(R4)



○令和4年産の品目別作付面積の増減割合(平成22年産比)



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計」(R4)

「主要24品目」は、キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、ほうれんそう、レタス、かぶ、ごぼう、かぼちゃ、さやえんどう、えだまめ、さやいんげん、スイートコーン、いちご、すいか、メロン及びブロッコリー

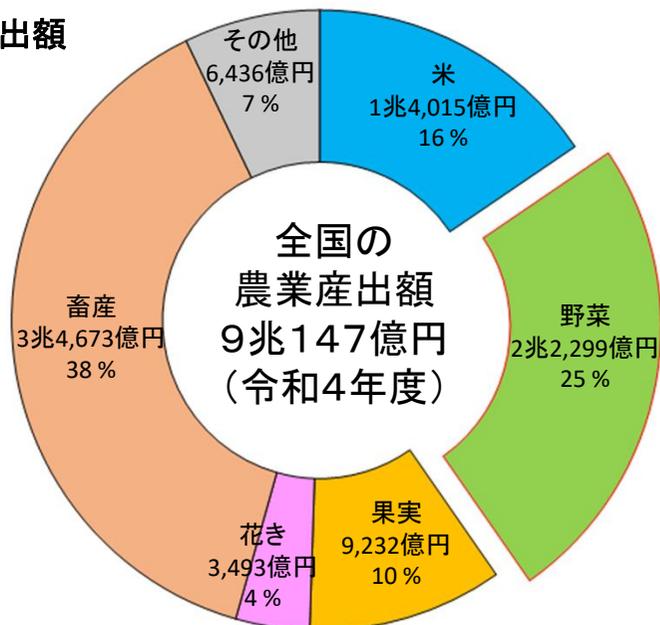
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計」(H22、R4)

平成22年産の作付面積が100ha以上の増加品目及び減少率2割以上の品目。

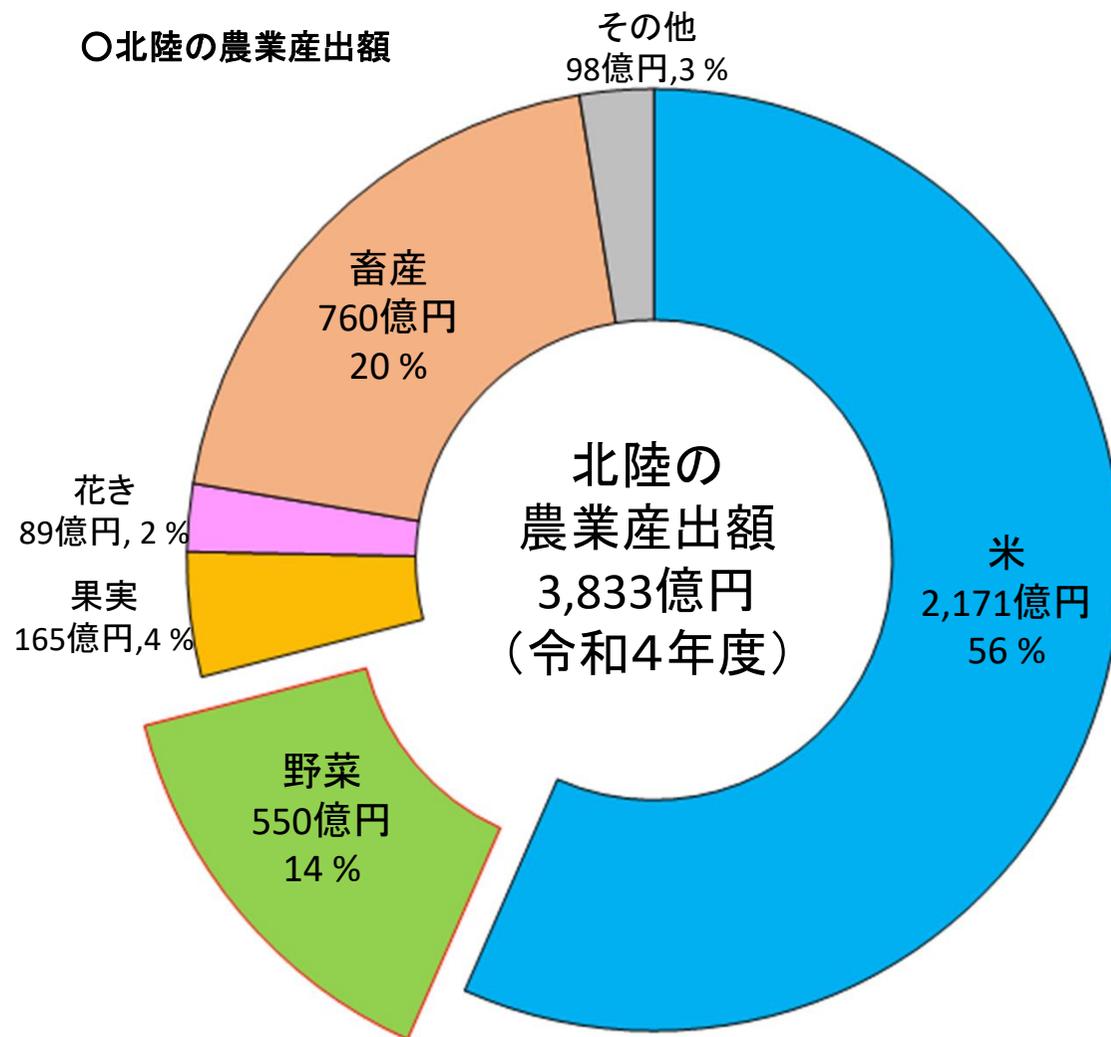
## 2 野菜の産出額

- 全国の野菜の農業産出額は約2兆2千299億円で、米を上回り全体の25 %となっている。  
一方、北陸地域の野菜の産出額は550億円で北陸地域全体の14 %に留まっている。
- 野菜の産出額の地域別構成割合を見ると北陸は2.5 %となっている。

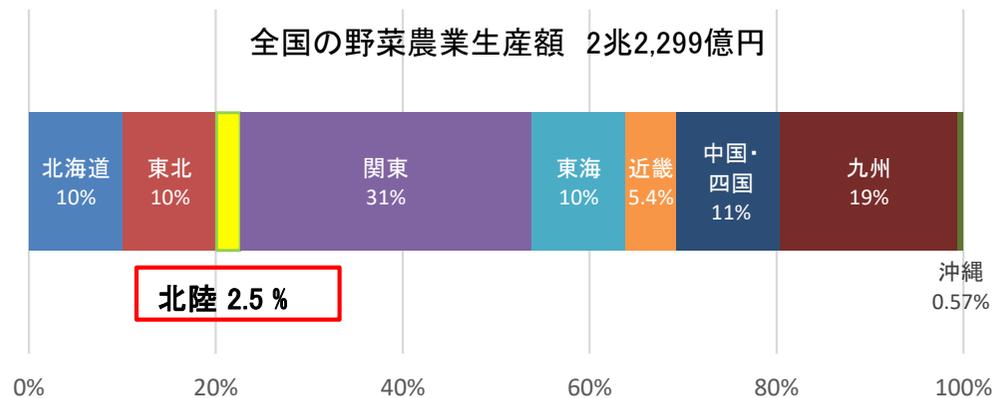
○全国の農業産出額



○北陸の農業産出額



○野菜の産出額の農業地域別構成割合



# ① 指定野菜と指定産地

- 野菜生産においては、産地を単位として計画的かつ安定的な供給、需給調整などに取り組むこととしている。
- 野菜生産出荷安定法に基づき、指定野菜(14品目)について、全国で867の野菜指定産地指定。  
うち、北陸の指定産地は29産地。

## ○指定野菜と指定産地

### 野 菜

#### 指定野菜

キャベツ (春、夏秋、冬)  
きゅうり (夏秋、冬春)  
さといも (秋冬)  
だいこん (春、夏、秋冬)  
トマト (夏秋、冬春)  
なす (夏秋、冬春)  
にんじん (春夏、秋、冬)  
ねぎ (春、夏、秋冬)  
はくさい (春、夏、秋冬)  
ピーマン (夏秋、冬春)  
レタス (春、夏秋、冬)  
たまねぎ  
ばれいしょ  
ほうれんそう

○指定野菜  
消費量が相対的に多く又は多くなることが見込まれる野菜であって、その種類、通常の出荷時期等により政令で定める種別に属するもの (法第2条)  
(14品目30種別)

### 産 地

#### 野菜指定産地

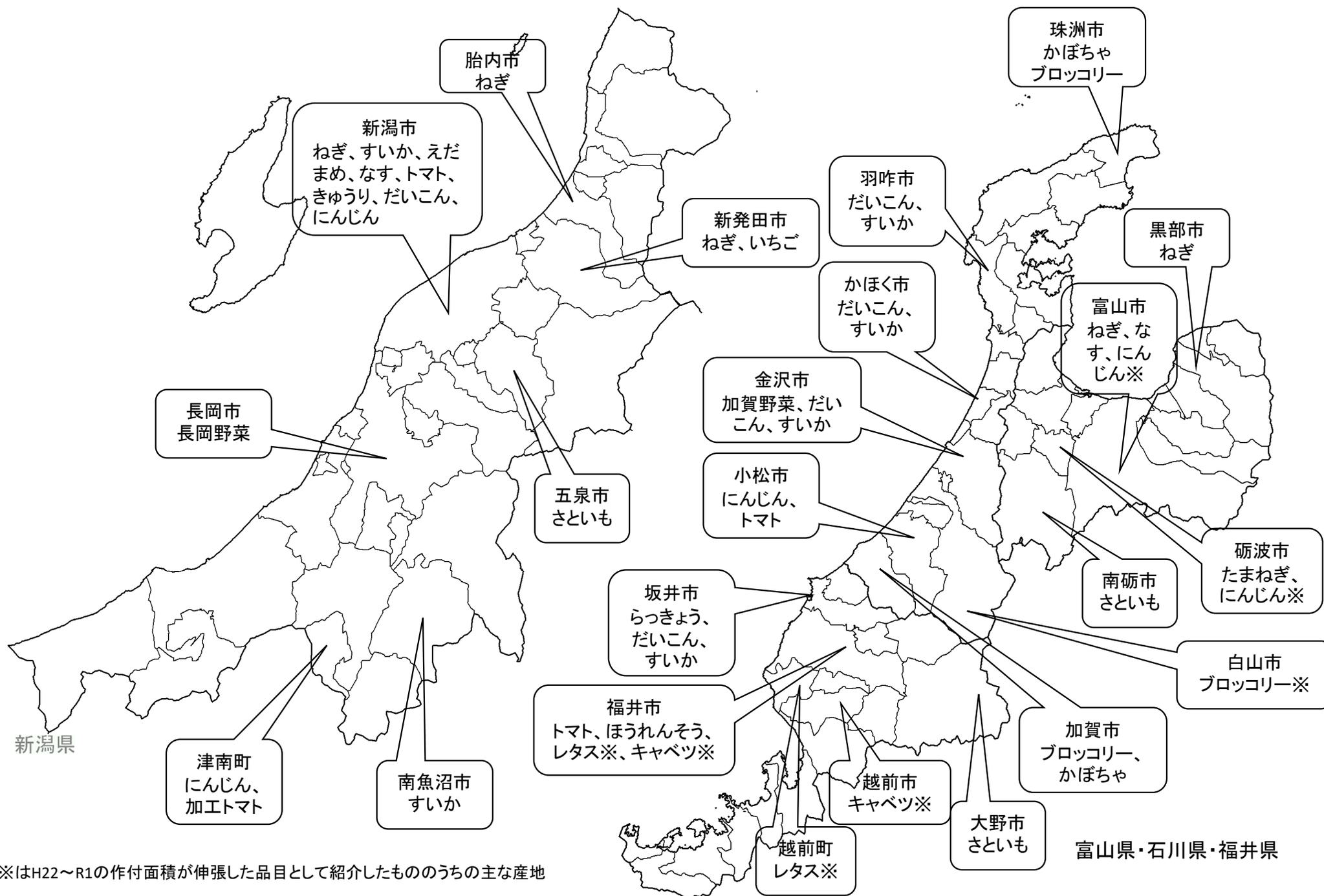
867産地 (令和6年5月現在)  
(うち北陸 29産地)

※農林水産大臣が都道府県知事の意見を聞いて指定

※都道府県知事は、当該産地にかかる「生産出荷近代化計画」を策定

○野菜指定産地  
指定野菜の種別ごとに、その区域から当該指定野菜の出荷が行われる一定の生産地域であって、その出荷の安定を図るため当該指定野菜の集団産地として形成することが必要と認められるもの (法第4条)

## ② 北陸の主な野菜産地



※はH22～R1の作付面積が伸張した品目として紹介したもののうちの主な産地

### ③ 野菜の流通動向

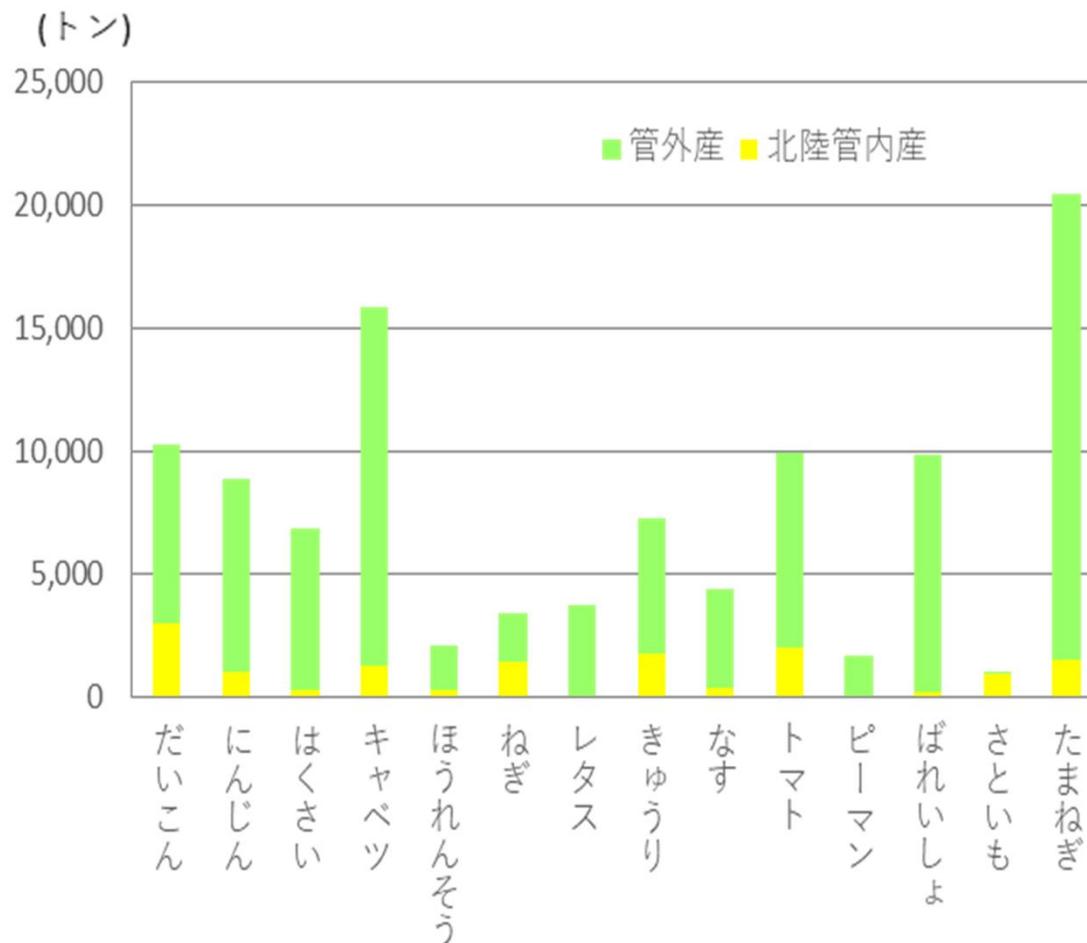
- 令和5年の管内17市場における指定野菜(14品目)の入荷量は、約19万t。  
このうち、管内産指定野菜の占有率は16%。

○北陸管内17市場における管内産指定野菜の占有率(R5)

(単位:トン、%)

品目	総計	北陸産	北陸産の占有率	管外産
だいこん	20,020	6,244	31.2	13,776
にんじん	16,396	2,565	15.7	13,831
はくさい	13,385	570	4.3	12,815
キャベツ	29,266	3,057	10.5	26,209
ほうれんそう	3,870	620	16.1	3,250
ねぎ	6,561	3,102	47.3	3,459
レタス	7,622	258	3.4	7,364
きゅうり	12,772	4,170	32.7	8,602
なす	7,808	817	10.5	6,991
トマト	15,934	3,903	24.5	12,031
ピーマン	3,243	57	1.8	3,186
ばれいしょ	17,146	297	1.8	16,849
さといも	2,036	1,860	91.4	176
たまねぎ	32,921	2,553	7.8	30,368
総計	188,980	30,073	16	158,907

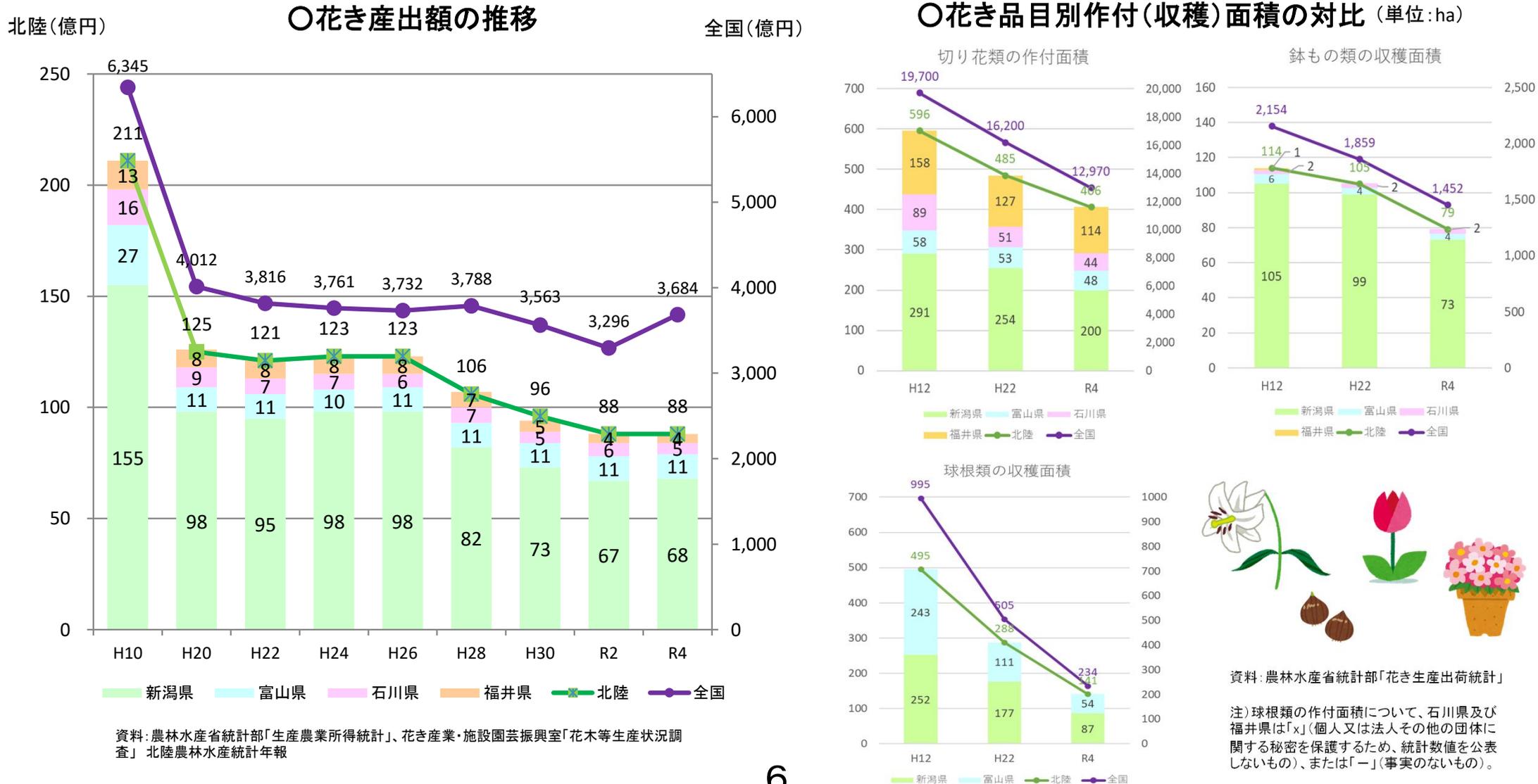
○北陸主要市場における指定野菜の入荷量(R5)



資料:指定野菜の入荷量と価格(管内17市場の入荷量を集計し取りまとめたもの)

## 2 花きの産出額及び作付面積

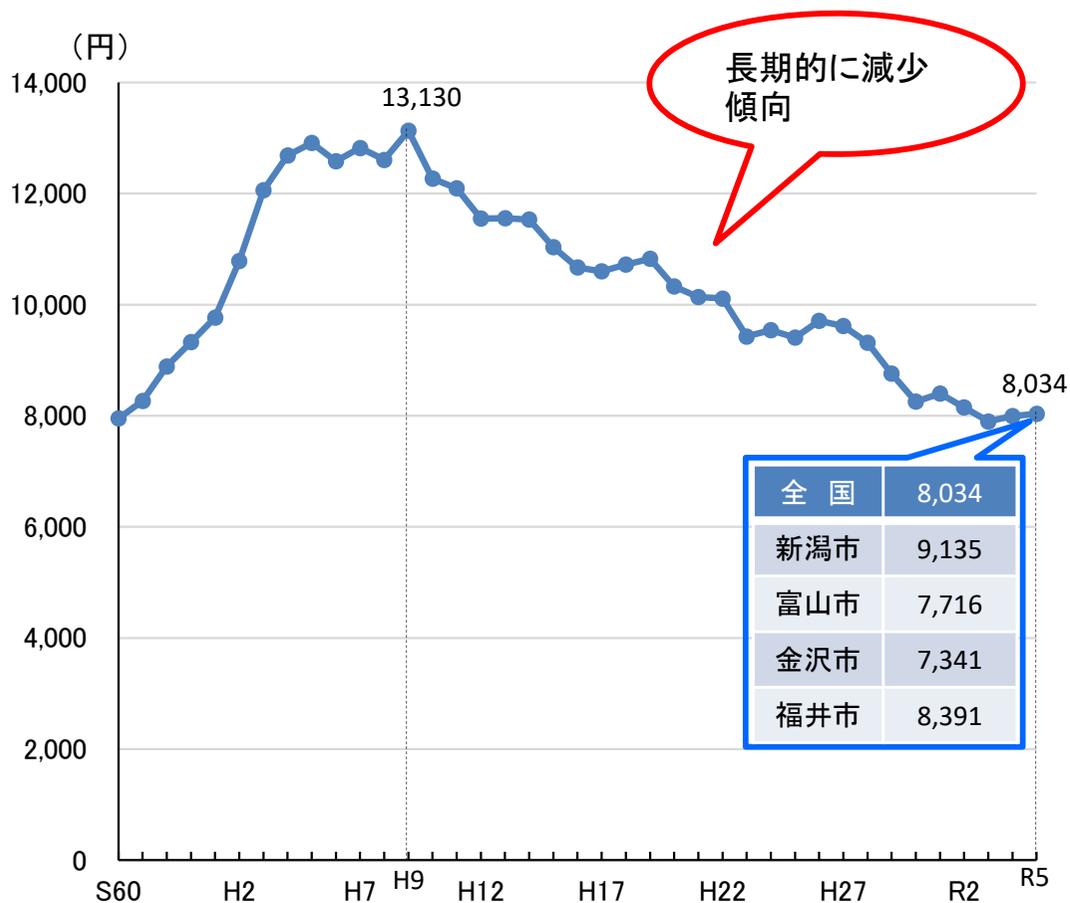
- 北陸管内の令和4年産の花き産出額は88億円(全国の2.4%)、平成10年産と比べ管内各県とも大きく減少している。県別にみると、新潟県が68億円で北陸全体の77.3%を占め、富山県が11億円(同12.5%)、石川県が5億円(同5.7%)、福井県が4億円(同4.5%)となっている。
- 花きの品目別作付(収穫)面積は、全国、管内各県ともに減少傾向にある。



# 花きの消費の動向

○ 切り花の購入金額は長期的に見て減少傾向にあり、世帯主の年齢別で見ると、若年層ほど購入金額が低い。

## ○切り花1世帯あたり年間購入額の推移



## ○世帯主年齢別年間購入額(令和5年)



資料:総務省統計局「家計調査年報」二人以上の全世帯

注)平成20年以降の金額は、「(農林漁家を含む)二人以上の世帯」の金額。それ以外は「農林漁家を除く二人以上の世帯」の金額となっている。

# 花きの需要拡大の取組等

- 北陸地域花き連絡協議会(事務局:園芸特産課)は、花き類の生産振興と消費拡大に資することを目的として平成12年に設立され、花きセミナー等を開催。

## 令和5年度北陸地域花きセミナー

**令和5年度  
北陸地域花きセミナー**  
オンライン開催・参加費無料  
**10月17日(火)**  
13:30～15:00

**プログラム**

- 1 「花きをめぐる情勢」  
農林水産省農産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室
- 2 「物流の2024年問題における  
中継地点の役割について」  
大阪フラワーサービス株式会社 代表取締役社長 矢野 新一 氏

2015年より大阪鶴見花き地方卸売市場の商品を全量管理している大阪フラワーサービス株式会社は、物流コストの上昇や2024年問題への対応について、全国へ花きを流通させる中継地点としての機能強化に取り組んでいます。本セミナーでは中継地点の役割と重要性、これからの花業界の物流についてお話いただきます。

**主催** 農林水産省北陸農政局、北陸地域花き連絡協議会

以下のURLまたは2次元バーコードよりお申込みください  
<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/seisan/230915.html>  
締切：2023年10月13日(金) 17:00 まで

問合せ先：北陸農政局生産部園芸特産課 伊東、大八木 076-263-2161 (内線：3336)

## フラワーウォーク

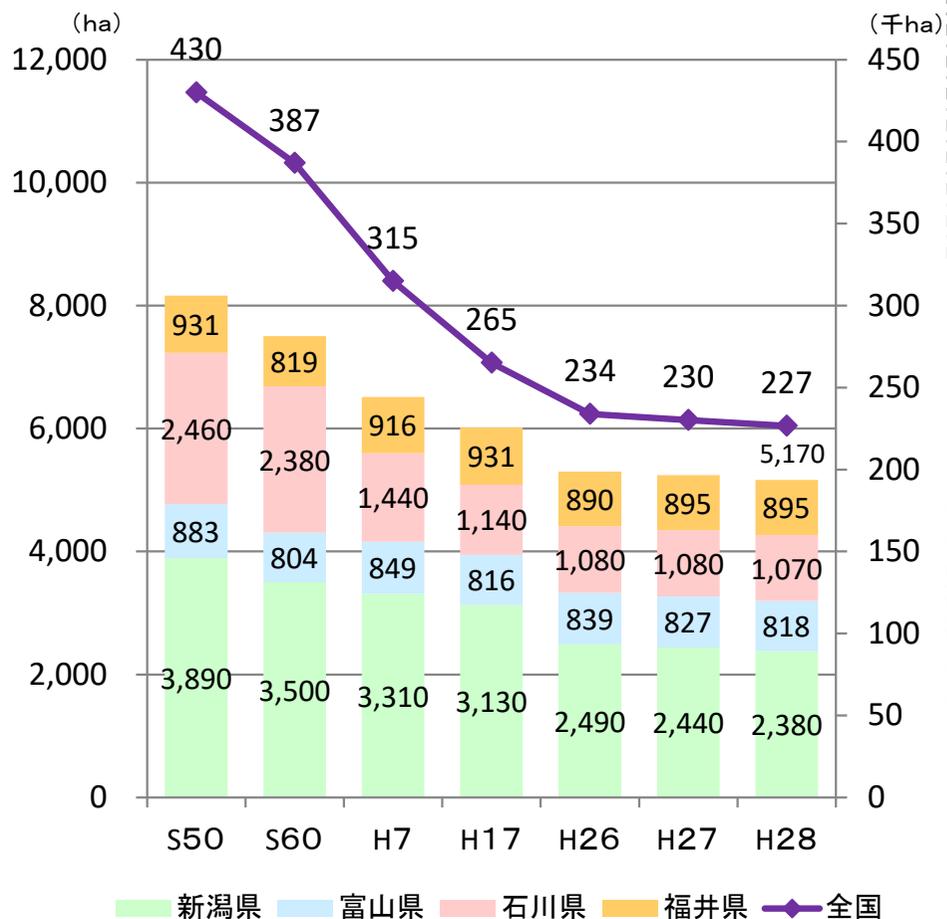
- ・花きの消費拡大のため、北陸農政局職員等を対象に花束や鉢物の斡旋販売を行い、職場から自宅まで周囲に見えるように持ち帰ることで、花のある生活の良さをPRする「フラワーウォーク」の取組を実施。
- ・フラワーバレンタインのPRとともに、令和6年2月9日に実施(花束43束)。



### 3-1 果樹の栽培面積

- 北陸における平成28年の果樹栽培面積は5,170haで、全国の果樹栽培面積(226,700ha)の2.3%を占めている。
- 北陸における令和5年産の品目別の栽培面積において、かきは971ha(全国に占める割合5.5%)、日本なしは704ha(同7.2%)となっている。

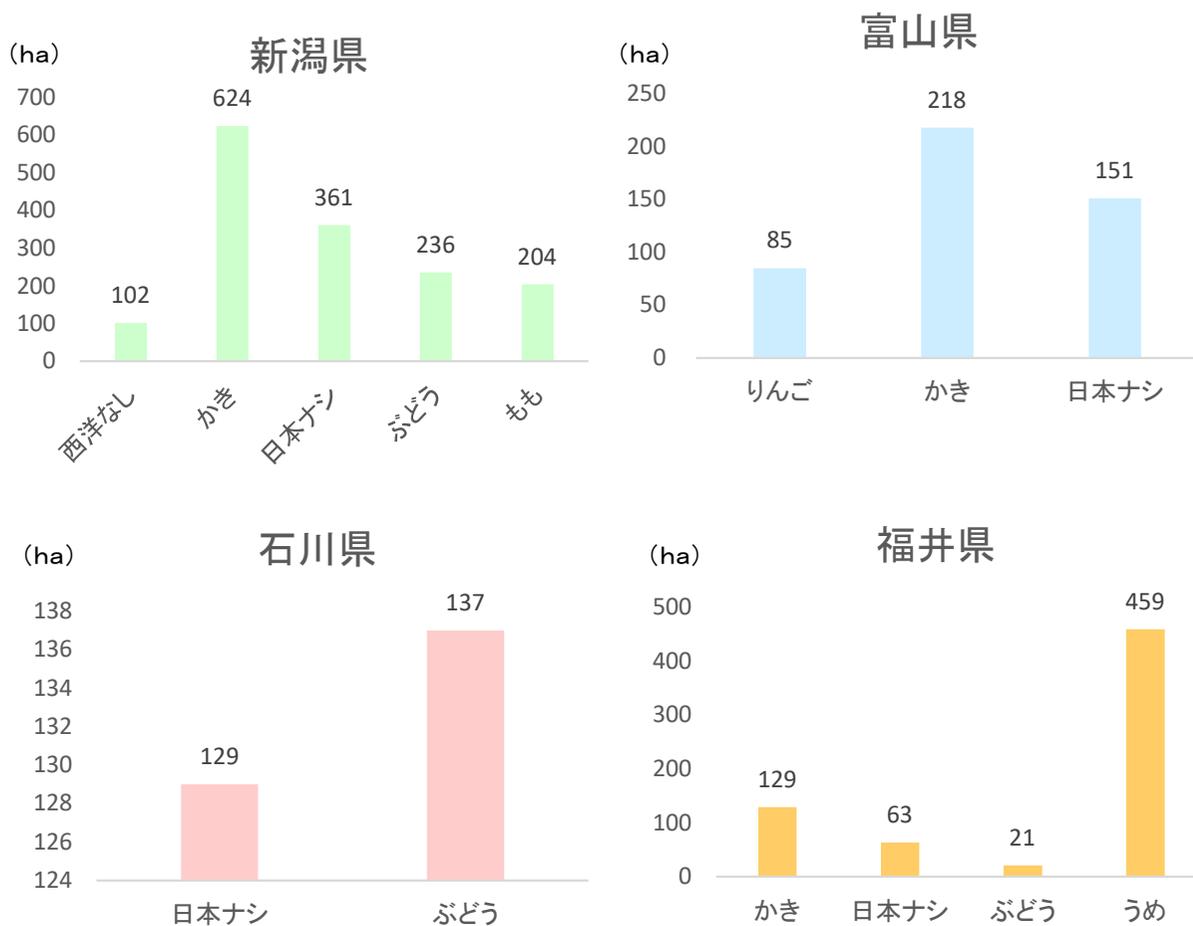
#### ○果樹栽培面積の推移



資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

注1 果樹栽培面積は、平成28年をもって全品目の調査を終了。  
以降、主要品目のみ果樹栽培面積を公表。

#### ○主な品目の果樹栽培面積(令和5年産)

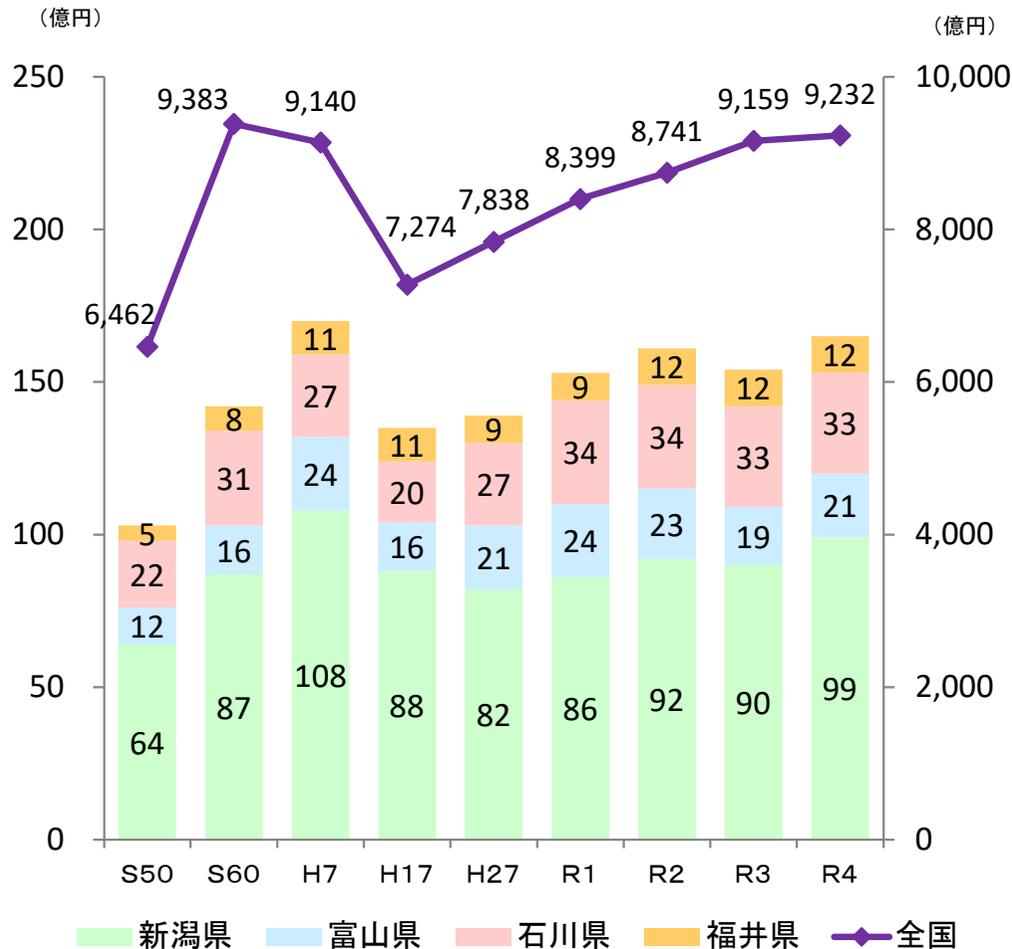


資料:農林水産省統計部「令和5年産果樹生産出荷統計」

### 3-2 果樹の産出額

- 北陸における令和4年果実産出額は164億円で、新潟県が60%を占めており、全国の果実産出額(9,232億円)の1.1%である。
- 品目別産出額をみると、令和4年はぶどう40億円、日本なし46億円、かき34億円となっており、特に、西洋なしは新潟県で全国2位、かきは新潟で全国5位、うめは福井県で全国6位、と全国上位の品目もある。

○果実産出額の推移



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

○品目別産出額(令和4年)

(単位:億円、%)

	北陸	北陸				全国
		新潟県	富山県	石川県	福井県	
ぶどう	40 (2.1)	20 (1.0)	2 (0.1)	16 (0.8)	2 (0.1)	1925
日本なし	46 (6.7)	23 (3.4)	11 (1.6)	8 (1.2)	3 (0.4)	683
かき	34 (8.0)	⑤ 27 (6.3)	2 (0.5)	3 (0.7)	2 (0.5)	427
もも	10 (1.5)	⑦ 9 (1.3)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	684
西洋なし	8 (8.8)	② 8 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	91
うめ	7 (2.4)	2 (0.7)	0 (0.0)	1 (0.0)	⑥ 5 (1.7)	290
おうとう	1 (0.2)	⑨ 1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	413

資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」  
注1 ( )内は全国シェア、○内は全国順位

## (参考) 果樹産地構造改革計画の策定状況

- 果樹農業振興特別措置法に基づく基本方針を踏まえ、果樹産地構造計画の策定を各産地に促しているところであり、北陸管内で28計画を策定(令和6年3月31日現在)

### ○果樹産地構造改革計画(令和6年3月31日現在)

	協議会名	対象地域		産地計画 策定状況 (R6.3.31)	終了年	対象品目
		市町村	農協			
新潟県	越後獅子果樹産地協議会	新潟市(西蒲区・南区) 【旧月潟村、中之口村】	JA新潟かがやき	○	R8	ぶどう、もも、日本なし、西洋なし
	越王おけさ柿振興協議会	新潟市西蒲区	JA新潟かがやき	○	R8	かき
	JAえちご中越天果糖逸(てんかとういつ)果樹産地協議会	三条市、加茂市、田上町	JAえちご中越	○	R8	日本なし、ぶどう、もも、西洋なし
	羽茂果樹産地協議会	佐渡市【旧羽茂町】	JA羽茂	○	R8	かき、西洋なし、スモモ
	JA佐渡果樹産地協議会 (おけさ柿、振興果樹)	佐渡市 【旧相川町・佐和田町・金井町・畑野町・真野町・小木町・新穂村・赤泊村・両津市】	JA佐渡	○	R8	西洋なし、りんご、おうとう、キウイフルーツ、うめ、もも、ネクタリン、いちじく、みかん、柿、加工柿、日本なし
	新潟かがやき果樹広域協議会	新潟市(巻地区、西川地区、岩室地区、潟東地区、中之口地区、味方地区、月潟地区、黒埼地区)、燕市(分水地区、吉田地区、燕地区)、弥彦村	JA新潟かがやき	○	R8	いちじく

	協議会名	対象地域		産地計画 策定状況 (R6.3.31)	終了年	対象品目
		市町村	農協			
新潟県	朝日果樹産地協議会	村上市【旧朝日村】	JAにいがた 岩船		R3	かき、おうとう、山ぶどう、ぶどう、いちじく
	JA北越後果樹産地協議会	新発田市、聖籠町	JA北越後	○	R8	おうとう、いちじく、日本なし、西洋なし、もも、ぶどう、ギンナン、うめ、りんご
	豊栄地区果樹産地協議会	新潟市北区【旧豊栄市】	JA新潟市	○	R8	日本なし、西洋なし、ぶどう、いちじく
	しろね果樹産地協議会	新潟市南区	JA新潟かが やき	○	R5	日本なし、西洋なし、もも、ぶどう、りんご
	新潟地区果樹振興協議会	新潟市(旧亀田町、旧横越町、 旧新潟市両川地区)	JA新潟かが やき、JA新潟 市	○	R7	日本なし、西洋なし、りんご、ぶどう、うめ
	上越地域ぶどう産地協議会	上越市、妙高市	JAえちご上越	○	R7	ぶどう、ワイン用ぶどう
	JA新津さつき果樹振興協議会	新潟市(秋葉区・江南区)、阿賀 野市、五泉市	JA新潟かが やき	○	R8	柿
	五泉市果樹産地協議会	五泉市	JA新潟かが やき		R4	くり、 ぶどう、 キウイフルーツ、 銀杏
	見附果樹産地協議会	見附市	JAえちご中 越なんかん南 営農センター	○	R5	くり、ぶどう
	にいがた西地区果樹産地協議会	新潟市西区	JA新潟かが やき	○	R8	西洋なし、いちじく、おうとう、日本なし、キウイ フルーツ

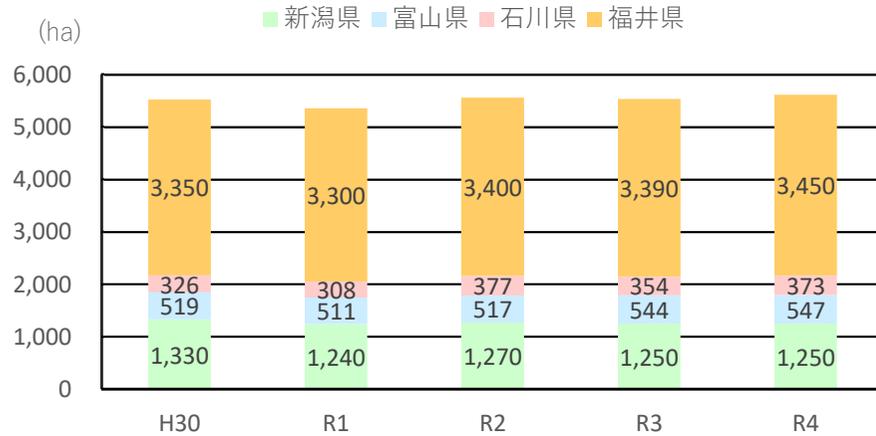
	協議会名	対象地域		産地計画 策定状況 (R6.3.31)	終了年	対象品目
		市町村	農協			
富山県	呉羽梨産地活性化推進委員会 (呉羽地区果樹組合連合会)	富山市 射水市	なのはな農協・いみず野農協	○	R7	日本なし
	富山干柿生産振興検討会 (富山干柿出荷組合連合会)	南砺市	なんと農協・福光農協		R3	干柿
	加積りんご産地協議会 (加積りんご組合)	魚津市	魚津市農協		R3	りんご
	下野方梨産地協議会 (下野方梨組合)	魚津市	魚津市農協		H28	日本なし
	みな穂もも産地協議会(みな穂もも 振興会)	入善町、朝日町	みな穂農協		R1	もも
	となみ野りんご振興委員会 (りんごネットワークとなみ野)	砺波市、南砺市	となみ野農協		R3	りんご
	西布施りんご産地協議会	魚津市	魚津市農協	○	R5	りんご
	立野原果樹生産振興検討会	南砺市	福光農協	○	R7	ぶどう(醸造用)
	立山町もも産地協議会	立山町	アルプス農協	○	R7	もも
	南砺市ぶどう生産振興協議会	南砺市	なんと農協・福光農協	○	R7	ぶどう
	いみず野果樹産地協議会	射水市	いみず野農協	○	R8	もも、ぶどう、いちじく
	氷見市果樹産地協議会	氷見市	氷見市農協	○	R8	りんご、かき、ぶどう、うめ
	高岡市果樹産地協議会	高岡市	高岡農協	○	R9	りんご、もも、ぶどう、なし、いちじく、キウイフルーツ

	協議会名	対象地域		産地計画 策定状況 (R6.3.31)	終了 年	対象品目
		市町村	農協			
石川 県	JA松任果樹産地協議会	白山市	JA松任	○	R9	なし
	加賀地区果樹産地協議会 (JA加賀:JA加賀ぶどう部会)	加賀市	JA加賀		H23	ぶどう
	加賀市奥谷地区果樹産地協議会 (JA加賀:奥谷梨生産組合)	加賀市	JA加賀		H30	なし
	加賀市小塩辻地区果樹産地協議会 (JA加賀:小塩辻梨生産組合、大山梨生 産組合(平成25年4月1日から合併))	加賀市	JA加賀		H29	なし
	金沢果樹振興協議会 (金沢市ぶどう産地)	金沢市	JA金沢市		H23	ぶどう
	金沢果樹振興協議会 (崎浦地区なし、もも産地)	金沢市	JA金沢市		H28	なし、もも
	かほく市果樹産地協議会 (高松ぶどう生産組合)	かほく市	JA石川かほく		H28	ぶどう
	かほく市果樹産地協議会 (高松紋平柿生産組合)	かほく市	JA石川かほく		H28	かき
	JAはくい果樹産地振興協議会 (JAはくいぶどう部会)	羽咋市、宝達志水町	JAはくい		H23	ぶどう
	JAはくい果樹産地振興協議会 (JAはくいいちじく部会)	宝達志水町	JAはくい		H23	いちじく
福井 県	福井ウメ振興協議会	越前町、南越前町、敦賀市、 美浜町、若狭町、小浜市、お おい町、高浜町	JA福井県、JA越 前たけふ	○	R7	うめ
	JA福井県坂井地区園芸組織協議会	あわら市、坂井市	JA福井県	○	R9	なし、かき、うめ
	福井ブドウ振興協議会	県内全市町	JA福井県	○	R8	ぶどう
	岩屋梨振興協議会	若狭町	JA福井県	○	R7	なし
	今庄つるし柿振興協議会	越前市	JA越前たけふ	○	R9	かき

## 4 特産作物の概要

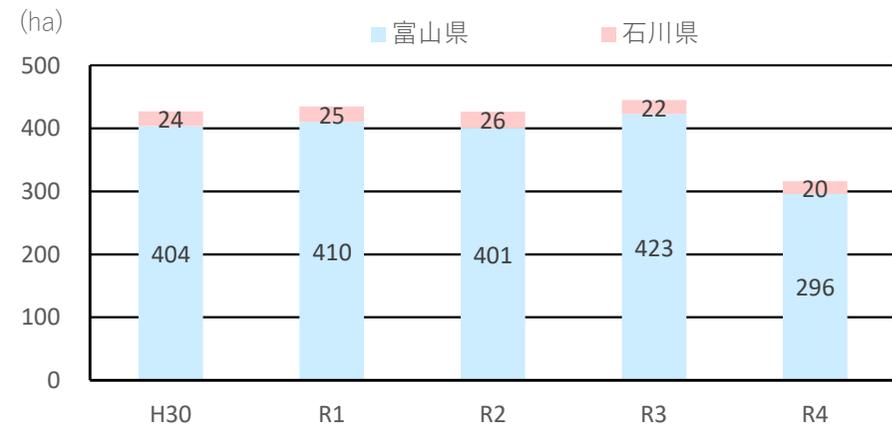
- 「そば」  
北陸における作付面積は近年微増傾向で推移しており、令和4年産では5,620haで、福井県が約6割を占めている。
- 「ハトムギ」  
北陸における栽培は、富山県の小矢部市、高岡市及び氷見市が中心に栽培されており、令和4年産の作付面積は296haと全国に占める割合の約5割となっている。
- 「シャクヤク（薬用作物）」  
全国のシャクヤク栽培面積は、令和4年産で41.2haで、このうち新潟県が2.1ha、富山県が7.0haで全国の22%を占めている。  
シャクヤクの根は、漢方薬原料として利用され、鎮痛、抗炎症等に効果がある。
- 「えごま」  
全国のえごま栽培面積は、令和4年産で約360haで、このうち北陸産が41haと、全国の約1割が栽培されている。

### ○ そば栽培面積の推移



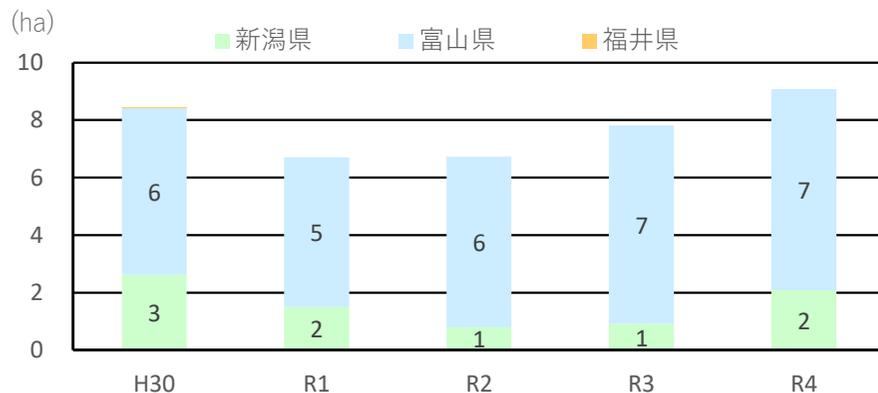
資料：農林水産省統計部「作物統計」

### ○ ハトムギ栽培面積の推移



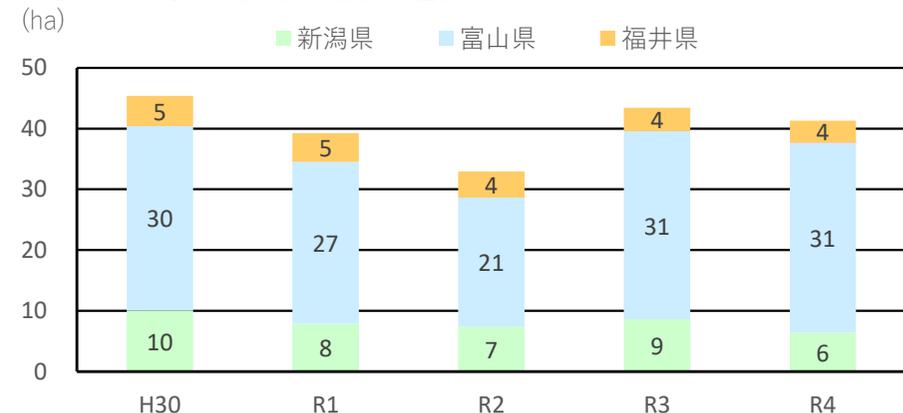
資料：(公財)日本特産農作物種苗協会調べ

### ○ シャクヤク(薬用作物)栽培面積の推移



資料：(公財)日本特産農作物種苗協会調べ

### ○ えごまの栽培面積の推移



資料：(公財)日本特産農作物種苗協会調べ